

例題 3 絶対値の性質

次の問いに答えよ。

- (1) $|a| \geq a$ が成り立つことを証明せよ。
 (2) $|ab| = |a||b|$ が成り立つことを証明せよ。ただし、 $a \geq 0, b < 0$ とする。

解 (1) $a \geq 0$ のとき、 $|a| = a$ より、等号が成り立つ。
 $a < 0$ のとき、 $|a| = -a > 0$ よって、 $|a| = -a > a$ より、成り立つ。
 (2) $ab \leq 0$ より、 $|ab| = -ab, |a| = a, |b| = -b$ より、 $|a||b| = -ab$
 ゆえに、等式が成り立つ。

6 例題3の(2)の等式が、次の場合にも成り立つことを証明せよ。

- (1) $a \geq 0, b \geq 0$ (2) $a < 0, b \geq 0$ (3) $a < 0, b < 0$

7 次の式が成り立つことを証明せよ。

- (1) $|a| \geq -a$ (2) $|a|^2 = a^2$

8 $b \neq 0$ のとき、 $|ab| = |a||b|$ を利用して、 $\left|\frac{a}{b}\right| = \frac{|a|}{|b|}$ を証明せよ。**例題 4** 平方根

次の問いに答えよ。

- (1) 25の平方根を求めよ。 (2) $\sqrt{28}$ を $a\sqrt{b}$ の形で表せ。
 (3) $\sqrt{a^2}$ の根号をはずせ。

解 (1) 正の数、負の数の2つがある。 $\pm\sqrt{25} = \pm 5$
 (2) $\sqrt{28} = \sqrt{2^2 \cdot 7} = 2\sqrt{7}$
 (3) $a \geq 0$ のとき、 $\sqrt{a^2} = a$ $a < 0$ のとき、 $\sqrt{a^2} = -a$ ($\sqrt{a^2} = |a|$ と同じ)

9 次の数の平方根を求めよ。

- (1) 49 (2) 144 (3) $\frac{16}{9}$ (4) 15 (5) 33

10 $\sqrt{4^2}, \sqrt{(-5)^2}, (\sqrt{6})^2$ の値をそれぞれ求めよ。11 次の数を $a\sqrt{b}$ の形で表せ。

- (1) $\sqrt{27}$ (2) $\sqrt{20}$ (3) $\sqrt{32}$ (4) $\sqrt{75}$ (5) $\sqrt{112}$

12 次の場合について、 $\sqrt{(x-1)^2}$ の根号をはずせ。

- (1) $x < 1$ (2) $x \geq 1$

●ポイント

- ① $\sqrt{a^2} = |a|$ ② $a > 0, b > 0$ のとき、 $\sqrt{a^2 b} = a\sqrt{b}$

例題 5 根号を含む式の計算

次の式を計算せよ。

- (1) $\sqrt{45} - \sqrt{80} - \sqrt{5}$ (2) $(\sqrt{5} + 2\sqrt{2})^2$

解 (1) 与式 $= 3\sqrt{5} - 4\sqrt{5} - \sqrt{5} = (3-4-1)\sqrt{5} = -2\sqrt{5}$
 (2) 与式 $= (\sqrt{5})^2 + 2 \cdot \sqrt{5} \cdot 2\sqrt{2} + (2\sqrt{2})^2 \leftarrow (a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ を利用
 $= 5 + 4\sqrt{10} + 8 = 13 + 4\sqrt{10}$

13 次の式を計算せよ。

- (1) $\sqrt{27} + \sqrt{12}$ (2) $\sqrt{8} + \sqrt{18} - \sqrt{72}$
 (3) $2\sqrt{32} - \sqrt{18} + 3\sqrt{8}$ (4) $3\sqrt{3} + 2\sqrt{\frac{27}{4}} - \sqrt{48}$
 (5) $(2\sqrt{2} - \sqrt{6})^2$ (6) $(3\sqrt{2} - \sqrt{3})(\sqrt{2} + 2\sqrt{3})$
 (7) $(2\sqrt{5} - \sqrt{6})(2\sqrt{5} + \sqrt{6})$ (8) $(\sqrt{3} + \sqrt{2})^2 - (\sqrt{3} - \sqrt{2})^2$
 (9) $(\sqrt{6} - \sqrt{3} - \sqrt{2})^2$ (10) $(1 + \sqrt{2} + \sqrt{3})(1 + \sqrt{2} - \sqrt{3})$

例題 6 分母の有理化

次の式の分母を有理化せよ。

- (1) $\frac{3}{\sqrt{6}}$ (2) $\frac{\sqrt{5} + \sqrt{3}}{\sqrt{5} - \sqrt{3}}$

解 (1) $\frac{3}{\sqrt{6}} = \frac{3 \times \sqrt{6}}{\sqrt{6} \times \sqrt{6}} = \frac{3\sqrt{6}}{6} = \frac{\sqrt{6}}{2}$
 (2) $\frac{\sqrt{5} + \sqrt{3}}{\sqrt{5} - \sqrt{3}} = \frac{(\sqrt{5} + \sqrt{3})^2}{(\sqrt{5} - \sqrt{3})(\sqrt{5} + \sqrt{3})} = \frac{5 + 2\sqrt{15} + 3}{5 - 3} = \frac{8 + 2\sqrt{15}}{2} = 4 + \sqrt{15}$

14 次の式の分母を有理化せよ。

- (1) $\frac{2}{\sqrt{5}}$ (2) $\frac{9}{2\sqrt{6}}$ (3) $\frac{1}{\sqrt{6} + \sqrt{3}}$ (4) $\frac{\sqrt{3}}{\sqrt{6} - \sqrt{2}}$
 (5) $\frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{6} + 2}$ (6) $\frac{\sqrt{7} + \sqrt{3}}{\sqrt{7} - \sqrt{3}}$ (7) $\frac{3 - 2\sqrt{2}}{3 + 2\sqrt{2}}$ (8) $\frac{\sqrt{6} - 3\sqrt{3}}{\sqrt{6} + \sqrt{3}}$

15 次の計算をせよ。

- (1) $\frac{\sqrt{3}}{\sqrt{6} + \sqrt{3}} + \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{6} - \sqrt{3}}$ (2) $\frac{1}{\sqrt{5} - 2} + \frac{1}{\sqrt{5} - 1}$

●ポイント

- ① $a > 0, b > 0$ のとき、 $m\sqrt{a} \pm n\sqrt{a} = (m \pm n)\sqrt{a}$ 、 $\sqrt{a}\sqrt{b} = \sqrt{ab}$ 、 $\frac{\sqrt{a}}{\sqrt{b}} = \sqrt{\frac{a}{b}}$
 ② 【分母の有理化】 分母が \sqrt{a} の形の場合 → 分母、分子に \sqrt{a} を掛ける。
 分母が $\sqrt{a} \pm \sqrt{b}$ の形の場合 → 分母、分子に $\sqrt{a} \mp \sqrt{b}$ を掛ける。

例題 7 式の値

次の問いに答えよ。

- (1) $x = \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}+1}, y = \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}-1}$ のとき、 x^2+y^2 の値を求めよ。
 (2) $\sqrt{6}$ の整数部分を a 、小数部分を b とするとき、 a^2-b^2 の値を求めよ。

解 (1) $x+y = \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}+1} + \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}-1} = \frac{\sqrt{3}(\sqrt{2}-1) + \sqrt{3}(\sqrt{2}+1)}{(\sqrt{2}+1)(\sqrt{2}-1)} = 2\sqrt{6}$,

$xy = \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}+1} \cdot \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}-1} = 3$ より、

$x^2+y^2 = (x+y)^2 - 2xy = (2\sqrt{6})^2 - 2 \cdot 3 = 18$

- (2) $2 < \sqrt{6} < 3$ より、 $\sqrt{6}$ の整数部分は 2 となる。よって、 $a=2, b=\sqrt{6}-2$

$a^2-b^2 = 2^2 - (\sqrt{6}-2)^2 = 4 - (10 - 4\sqrt{6}) = 4\sqrt{6} - 6$

- 16** $x = \frac{1}{\sqrt{3}-\sqrt{2}}, y = \frac{1}{\sqrt{3}+\sqrt{2}}$ のとき、次の式の値を求めよ。

- (1) $x+y$ (2) xy (3) x^2+y^2 (4) x^4+y^4

- 17** $x = \frac{3+\sqrt{5}}{3-\sqrt{5}}$ のとき、次の式の値を求めよ。

- (1) $x - \frac{1}{x}$ (2) $x^2 + \frac{1}{x^2}$

- 18** $5-\sqrt{2}$ の整数部分を a 、小数部分を b とするとき、 a^2+b^2 の値を求めよ。

例題 8 二重根号のはずし方

次の二重根号をはずせ。

- (1) $\sqrt{4+2\sqrt{3}}$ (2) $\sqrt{5-\sqrt{24}}$ (3) $\sqrt{4-\sqrt{15}}$

解 $a > b > 0$ のとき、 $\sqrt{a+b \pm 2\sqrt{ab}} = \sqrt{(\sqrt{a} \pm \sqrt{b})^2} = \sqrt{a} \pm \sqrt{b}$ であることを利用する。

(1) $\sqrt{4+2\sqrt{3}} = \sqrt{3+1+2\sqrt{3 \cdot 1}} = \sqrt{3} + 1$

(2) $\sqrt{5-\sqrt{24}} = \sqrt{5-2\sqrt{6}} = \sqrt{3+2-2\sqrt{3 \cdot 2}} = \sqrt{3} - \sqrt{2}$

(3) $\sqrt{4-\sqrt{15}} = \sqrt{4-\frac{2\sqrt{15}}{2}} = \sqrt{\frac{8-2\sqrt{15}}{2}} = \frac{\sqrt{5-\sqrt{3}}}{\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{10-\sqrt{6}}}{2}$

- 19** 次の二重根号をはずせ。

- (1) $\sqrt{3+2\sqrt{2}}$ (2) $\sqrt{10-2\sqrt{21}}$ (3) $\sqrt{8+2\sqrt{15}}$
 (4) $\sqrt{9-2\sqrt{14}}$ (5) $\sqrt{7+4\sqrt{3}}$ (6) $\sqrt{12-4\sqrt{5}}$
 (7) $\sqrt{7-\sqrt{24}}$ (8) $\sqrt{6+\sqrt{20}}$ (9) $\sqrt{4+\sqrt{7}}$

●ポイント

- ① $\sqrt{A \pm 2\sqrt{B}} = \sqrt{a} \pm \sqrt{b}$ ($a > b$) 和が A 、積が B となる 2 つの正の数 a, b を求める。

混合問題

A

- 1 次的小数を分数になおせ。

- (1) $0.\dot{4}\dot{2}$ (2) $0.5\dot{3}\dot{1}$ (3) $0.4\dot{2}1\dot{6}$

- 2 次の場合について、 $|x+2| - |x-4|$ を簡単にせよ。

- (1) $x < -2$ (2) $-2 \leq x < 4$ (3) $x \geq 4$

- 3 次の式を計算せよ。

- (1) $(3\sqrt{2} + \sqrt{7})(3\sqrt{2} - \sqrt{7})$ (2) $(\sqrt{5} + \sqrt{2} - 1)^2$ (3) $\frac{2\sqrt{5} + 3\sqrt{2}}{2\sqrt{5} - 3\sqrt{2}}$
 (4) $\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{6} + \sqrt{5}} - \frac{\sqrt{2}}{\sqrt{6} - \sqrt{5}}$ (5) $\frac{1}{\sqrt{5} + 1} + \frac{2}{\sqrt{5} - 2}$ (6) $\frac{\sqrt{5} - \sqrt{3} + 2\sqrt{2}}{\sqrt{5} + \sqrt{3} + 2\sqrt{2}}$

- 4 $\frac{\sqrt{3}+1}{\sqrt{3}-1}$ の整数部分を a 、小数部分を b とするとき、 $a - \sqrt{3}b$ の値を求めよ。

- 5 次の二重根号をはずせ。

- (1) $\sqrt{10+2\sqrt{21}}$ (2) $\sqrt{8-\sqrt{60}}$ (3) $\sqrt{2-\sqrt{3}}$

B

- 6 $a \neq 0$ とする。 $x = a^2 + 1$ のとき、次の場合について、 $\frac{\sqrt{x+2a} - \sqrt{x-2a}}{\sqrt{x+2a} + \sqrt{x-2a}}$ を a の式で表せ。

- (1) $a < -1$ (2) $-1 \leq a < 1$ ($a \neq 0$) (3) $a \geq 1$

- 7 $x+y+z=2\sqrt{3}, xy+yz+zx=-3, xyz=1$ のとき、次の式の値を求めよ。

- (1) $x^2+y^2+z^2$ (2) $x^3+y^3+z^3$

- 8 $x = \frac{2-\sqrt{2}}{2+\sqrt{2}}$ のとき、次の式の値を求めよ。

- (1) $x + \frac{1}{x}$ (2) $x^2 + \frac{1}{x^2}$ (3) $x^3 + \frac{1}{x^3}$ (4) $x^4 + \frac{1}{x^4}$

■ヒント

- 6 x に a^2+1 を代入すると、 $\sqrt{(\quad)^2}$ の形になる。 $\sqrt{(\quad)^2}$ は安易に $\sqrt{\quad}$ をはずしてはいけない。

- 7 与式を、 $x+y+z, xy+yz+zx, xyz$ で表すことを考える。

- 8 まず、 $x + \frac{1}{x}$ の値を求め、それをもとに(2)~(4)の値を求める。

3 1次不等式

例題 1 不等式の表し方

次の数量の間の大小関係を不等式で表せ。

- (1) x を5倍して7を引いた数は、 x の2倍より大きい。
- (2) ある学生の3回のテストの点は a 点、 b 点、 c 点で、その平均点は m 点以下である。

解 (1) 大きい、小さいを表すときは、 $>$ 、 $<$ を使う。 $5x-7 > 2x$
 (2) 以上、以下を表すときは、 \geq 、 \leq を使う。 $\frac{a+b+c}{3} \leq m$

1 次の数量の間の大小関係を不等式で表せ。

- (1) x を2倍して5を足した数は、 x の3倍より大きい。
- (2) a と b の和の4倍は、 a から b の7倍を引いた数以上である。
- (3) 1個 a g のせっけん20個を b g の箱に入れても、全体で1000gに満たない。
- (4) 30kmの道のりを自転車で行くのに、毎時 a kmの速さで走ると y 時間以上かかる。
- (5) 1個100円のかきと1個150円のりんごをそれぞれ x 個と y 個買って、 z 円のケースに入れてもらったら、2500円以下におさまった。

例題 2 不等式の性質

$a > b$ のとき、次の \square にあてはまる不等号を書け。

- (1) $a-3 \square b-3$
- (2) $\frac{a}{3} \square \frac{b}{3}$
- (3) $-2a \square -2b$

解 (1) 両辺から同じ数を引いても、不等号の向きは変わらない。 $>$
 (2) 両辺を同じ正の数で割っても、不等号の向きは変わらない。 $>$
 (3) 両辺に同じ負の数を掛けると、不等号の向きが変わる。 $<$

2 $a < b$ のとき、次の \square にあてはまる不等号を書け。

- (1) $a+6 \square b+6$
- (2) $a-10 \square b-10$
- (3) $-7a \square -7b$
- (4) $-2+5a \square -2+5b$
- (5) $\frac{3+4a}{7} \square \frac{3+4b}{7}$
- (6) $\frac{5-2a}{3} \square \frac{5-2b}{3}$

●ポイント

- ① 数量の間の大小関係を不等号を使って表した式を不等式といい、不等号の左側の部分を左辺、右側の部分を右辺といい、左辺と右辺を合わせて両辺という。
- ② [不等式の性質] (1) $A < B$ ならば、 $A+C < B+C$ 、 $A-C < B-C$
 (2) $A < B$ 、 $C > 0$ ならば、 $AC < BC$ 、 $\frac{A}{C} < \frac{B}{C}$
 (3) $A < B$ 、 $C < 0$ ならば、 $AC > BC$ 、 $\frac{A}{C} > \frac{B}{C}$

3 $x > y$ のとき、次の2式ではどちらが大きいか。

- (1) $\frac{x}{3}+8$ 、 $\frac{y}{3}+8$
- (2) $10-0.6x$ 、 $10-0.6y$
- (3) $\frac{7-x}{2}$ 、 $\frac{7-y}{2}$

4 次のような大小関係があるとき、 a と b の大小関係を不等号を使って表せ。

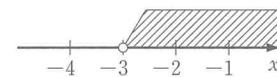
- (1) $a-4 > b-4$
- (2) $a+2 < b+2$
- (3) $-6a > -6b$
- (4) $9-4a < 9-4b$
- (5) $\frac{a}{5}+3 < \frac{b}{5}+3$
- (6) $6-\frac{a}{2} < 6-\frac{b}{2}$

例題 3 基本的な不等式の解法

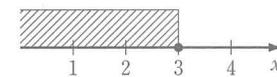
次の不等式を解け。また、解の集合を数直線上に表せ。

- (1) $x+8 > 5$
- (2) $5x \leq 15$
- (3) $-\frac{x}{3} > 2$

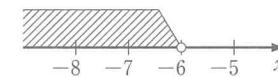
解 (1) $x+8 > 5$
 両辺から8を引く。
 $x+8-8 > 5-8$
 $x > -3$



(2) $5x \leq 15$
 両辺を5で割る。
 $\frac{5x}{5} \leq \frac{15}{5}$
 $x \leq 3$



(3) $-\frac{x}{3} > 2$
 両辺に-3を掛ける。
 $-\frac{x}{3} \times (-3) < 2 \times (-3)$
 $x < -6$



5 次の不等式を解け。また、解の集合を数直線上に表せ。

- (1) $x+3 > 7$
- (2) $x-1.7 < 1.8$
- (3) $-9+x \geq -3$

6 次の不等式を解け。

- (1) $x+2 < 1$
- (2) $x-8 \leq 5$
- (3) $x+\frac{2}{3} > \frac{5}{6}$
- (4) $-2.5+x \geq 0.5$
- (5) $9x < 27$
- (6) $-8x \leq 32$
- (7) $-7x > -63$
- (8) $13x \leq -169$
- (9) $-15x < -24$

7 次の不等式を解け。

- (1) $\frac{x}{4} > 3$
- (2) $-\frac{x}{2} < 5$
- (3) $-\frac{x}{7} \geq -4$
- (4) $\frac{1}{4}x \leq -2$
- (5) $-\frac{3}{8}x \leq \frac{5}{12}$
- (6) $-\frac{2}{9}x > -\frac{16}{27}$

●ポイント

- ① 不等式のすべての解を求めることを、その不等式を解くという。
- ② 不等式を解くには、不等式の性質を利用して、左辺を x だけにする。
- ③ 不等式の両辺に負の数を掛けたり、両辺を負の数で割ったりすると、不等号の向きが変わる。
- ④ 不等式の解の集合を数直線上に表すとき、 a を含まない場合 ($x > a$ 、 $x < a$ の場合) は a の点を「○」で、 a を含む場合 ($x \geq a$ 、 $x \leq a$ の場合) は a の点を「●」で表す。

例題 4 1次不等式の解法

次の1次不等式を解け。

(1) $5x-2 > 3x+4$

解 (1) $5x-2 > 3x+4$
 $5x-3x > 4+2$ ← 移項する。
 $2x > 6$ ← 両辺を整理する。
 $x > 3$ ← 両辺を2で割る。

(2) $2(x+4)-5x \leq 14$

(2) $2(x+4)-5x \leq 14$
 $2x+8-5x \leq 14$ ← かっこをはずす。
 $2x-5x \leq 14-8$ ← 移項する。
 $-3x \leq 6$ ← 両辺を整理する。
 $x \geq -2$ ← 両辺を-3で割る。不等号の向きが変わる。

8 次の1次不等式を解け。

(1) $4x-8 > 2x$

(3) $5-3x \leq 7-10x$

(5) $25x-38 \geq 49x-18$

(7) $12x+11 < 20x-7$

(9) $5(3x-2) < -1$

(11) $29-7(8-3x) \leq 18x$

(13) $2(x-2) > 3(4-x)+4$

(15) $4(2x-5)-3x > 2-2(x-3)$

(2) $12-3x \leq 4x$

(4) $7x-30 < 10x-9$

(6) $65+36x < 11+27x$

(8) $200-5x \geq 3x+64$

(10) $2x-(5x+3)+12 \geq 0$

(12) $3(x-2) > 4(x+1)-5$

(14) $3(2x-3)-2(1+5x) \geq 13$

(16) $8x-2(3x+5) \leq 3x-2(x-10)$

9 次の1次不等式を解け。

(1) $2.1-x > 0.5x$

(3) $0.45x-0.36 < 0.38x+0.27$

(5) $3.2x+4.2 \geq 2(x-0.6)+1.8$

(7) $\frac{2}{3} + \frac{1}{5}x \leq \frac{1}{3}x$

(9) $3 - \frac{5x-1}{3} > 2x+1$

(11) $\frac{3}{4}x < \frac{2x-1}{2} + \frac{3}{4}$

(2) $0.4x-1.1 < 0.7x+3.1$

(4) $0.11x+0.4 \geq 0.96+0.2x$

(6) $0.3(4x+0.6) < 1.5x+0.63$

(8) $\frac{2}{3}x - \frac{1}{5} > \frac{1}{2}x - \frac{1}{2}$

(10) $\frac{3x+1}{2} > \frac{2x-3}{5}$

(12) $\frac{-4x+1}{2} - \frac{x}{6} \geq \frac{3x-1}{4} + \frac{9}{2}$

●ポイント

- $ax+b > 0$ のように、移項して整理すると左辺が x の1次式になる不等式を**1次不等式**という。
- 不等式の両辺に同じ数を足しても、両辺から同じ数を引いても、不等号の向きは変わらない。よって、不等式も方程式の場合と同じように移項ができる。
- 両辺に負の数を掛けたり、両辺を負の数で割ったりするときは、不等号の向きに注意する。
- 小数を含む不等式は、両辺に10, 100などを掛けて、係数を整数にする。
- 分数を含む不等式は、両辺に分母の最小公倍数を掛けて、分母をはらう。

10 次の問いに答えよ。

(1) 不等式 $2(3x+2)+a > 9x$ の解が $x < 3$ のとき、 a の値を求めよ。

(2) x についての方程式 $7x-2(x-a)=8$ の解が正になるような a の値の範囲を求めよ。

例題 5 1次不等式の応用

1冊110円のノートと1冊80円のノートを合わせて10冊買って、その代金を1000円以下にしたい。1冊110円のノートをできるだけ多く買うには、それぞれ何冊買えばよいか。

解 110円のノートを x 冊買うとすると、80円のノートは $(10-x)$ 冊買うことになる。

よって、不等式は、 $110x+80(10-x) \leq 1000$ これを解くと、 $x \leq 6\frac{2}{3}$

$6\frac{2}{3}$ 以下の最大の自然数は6であるから、110円のノートは6冊

$10-6=4$ であるから、80円のノートは4冊

11 次の問いに答えよ。

(1) 1個の値段がそれぞれ160円、120円のりんごとみかんを合わせて15個入れた果物かごを作る。かご代150円を含めて、代金の合計が2400円をこえないようにしたい。りんごをできるだけ多く入れるとすると、それぞれ何個入れればよいか。

(2) 野球選手カードをAは46枚、Bは14枚持っている。AがBに何枚かあげても、Aの残りの枚数がBの枚数の2倍より多くなるようにしたい。AはBに何枚まであげられるか。

12 次の問いに答えよ。

(1) A店では、定価が1個800円のある商品を10%引きで売っている。B店では、同じ商品を1ダースまでは定価どおりの800円で、それをこえた分は1個につき定価の17%引きで売っている。この商品を何個以上買うと、B店で買う方がA店で買うより安くなるか。

(2) 5%の食塩水と8%の食塩水がある。5%の食塩水800gと8%の食塩水を何gか混ぜ合わせて6%以上の食塩水を作りたい。8%の食塩水を何g以上混ぜればよいか。

13 次の問いに答えよ。

(1) A地から15km離れたB地まで歩いた。はじめは平らな道を毎時5km、途中から上り坂を毎時3kmの速さで歩いた。所要時間が4時間以内のとき、平らな道は何km以上あったか。

(2) ある美術館の入館料は1人700円で、30人以上の団体は2割引きとなる。この美術館に30人に満たない団体が入館するとき、30人の団体扱いとして入館する方が、通常の料金で入館するより安くなるのは、人数が何人以上のときか。

●ポイント

- 問題に述べられた関係から不等式をつくって解き、解の中から条件に合うものを選択する。

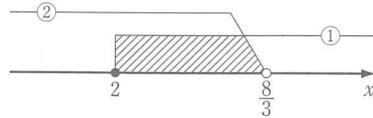
例題 6 連立不等式

連立不等式 $\begin{cases} 2x-1 \geq 3 \\ 3x+4 < 12 \end{cases}$ を解け.

解 $2x-1 \geq 3$ を解いて, $x \geq 2$ ……①

$3x+4 < 12$ を解いて, $x < \frac{8}{3}$ ……②

①, ②の共通部分をとって, $2 \leq x < \frac{8}{3}$



14 次の連立不等式を解け.

(1) $\begin{cases} 2x-3 < 5 \\ 3x+2 \geq 8 \end{cases}$

(2) $\begin{cases} 4x+1 \geq 2x-3 \\ 4x-3 > 7x-9 \end{cases}$

(3) $\begin{cases} 7(x+2) > 4x+5 \\ 3(2x+1) \geq 4x+7 \end{cases}$

(4) $\begin{cases} 3x+1 \leq 5(x-1) \\ 5(x-2)+1 \leq 3(x+1) \end{cases}$

(5) $\begin{cases} 0.2x-1 < 0.7x-2 \\ 2.3x-1.4 < 0.7(2x+7) \end{cases}$

(6) $\begin{cases} 0.25x-0.18 \geq 0.6-0.14x \\ 3x+1 \geq 5x-1 \end{cases}$

(7) $\begin{cases} \frac{8x+12}{7} < x + \frac{3}{2} \\ 5-6x > -x-5 \end{cases}$

(8) $\begin{cases} \frac{11}{4}x - \frac{3}{2} > 2x-5 \\ \frac{2}{3}x + \frac{1}{6} \leq -\frac{1}{2}x - \frac{3}{2} \end{cases}$

15 次の不等式を解け.

(1) $3x+1 < x-3 < 4x+9$

(2) $3(x-1)-1 < 5(x+1)-6 < 2(x-2)+5$

16 次の問いに答えよ.

- 1冊120円のノートと1冊80円のノートを合わせて10冊買って, その代金を900円以上1000円以下にしたい. 1冊120円のノートは何冊以上何冊以下買えばよいか.
- A地から20km離れたB地まで歩いた. はじめは時速6km, 途中から時速5kmで歩くと, 3時間30分以上3時間40分以下で着いた. 時速6kmで歩いた道のりは何km以上何km以下か.
- ある店では, 商品に原価の25%の利益を見込んで定価をつける. 定価から300円値引きして売っても, なお原価の10%以上15%以下の利益が得られるのは, 原価がどのような範囲のときか.

17 x についての連立不等式 $\begin{cases} 4x-5 \leq 9+2x \\ 3x-2 \leq 6x-a \end{cases}$ を満たす整数 x の個数が5個となるような a の値の範囲を定めよ.

●ポイント

- 2つ以上の不等式を組み合わせたものを連立不等式という.
- 連立不等式を解くには, それぞれの不等式を解いて, それらの解の共通の範囲を求める.
- 連立不等式は必ず解をもつとは限らない.
- $A < B < C$ のとき, $\begin{cases} A < B \\ B < C \end{cases}$ が同時に成り立つので, これを連立不等式として解けばよい.

例題 7 絶対値を含む方程式

次の方程式を解け.

(1) $|x-1|=3$

(2) $|x+1|=2x$

解 (1) (i) $x \geq 1$ のとき, $x-1=3$ より, $x=4$

(ii) $x < 1$ のとき, $-(x-1)=3$ より, $x=-2$

よって, $x=-2, 4$

[別解] $|(\)|=a$ (a は定数, $a>0$)は, $(\)=\pm a$ として解くこともできる.

(2) (i) $x \geq -1$ のとき, $x+1=2x$ より, $x=1$ これは $x \geq -1$ に適する.

(ii) $x < -1$ のとき, $-(x+1)=2x$ より, $x=-\frac{1}{3}$ これは $x < -1$ に適さない.

よって, $x=1$

18 次の方程式を解け.

(1) $|x|=2$

(2) $|x+1|=4$

(3) $|x-3|=8$

(4) $|3x-2|=6$

(5) $|2x-1|-6=5$

(6) $3|x-1|+5=7$

19 次の方程式を解け.

(1) $|x+5|=2x$

(2) $|x-1|=2x+1$

(3) $|3x-4|=x+8$

例題 8 絶対値を含む不等式

次の不等式を解け.

(1) $|x+1| < 4$

(2) $|x+2| > 2x$

解 (1) 与えられた不等式は, $-4 < x+1 < 4$ と同じである.

$-4 < x+1$ より, $x > -5$ $x+1 < 4$ より, $x < 3$

よって, $-5 < x < 3$

[注] $|(\)| < a \iff -a < (\) < a$, $|(\)| > a \iff (\) > a$, $(\) < -a$
ただし, a は定数で, $a > 0$

(2) $x \geq -2$ のとき, $x+2 > 2x$ より, $x < 2$ よって, $-2 \leq x < 2$ ……①

$x < -2$ のとき, $-(x+2) > 2x$ より, $x < -\frac{2}{3}$ よって, $x < -2$ ……②

①, ②のどちらかを満たしていればよいから, $x < 2$

20 次の不等式を解け.

(1) $|x| \leq 5$

(2) $|x+2| < 3$

(3) $|x-1| \geq 2$

(4) $|2x+1| < 4$

(5) $|3-x|+2 > 7$

(6) $2|5x-2|-5 \leq 3$

21 次の不等式を解け.

(1) $|x+6| > 3x$

(2) $|2x-1| \leq x+2$

(3) $x+|x+1| > 4x-3$

●ポイント

- 絶対値を含む方程式, 不等式では, 絶対値記号をはずして解いた解のうち, 適するものを選ぶ.

混合問題

1 次の1次不等式を解け.

(1) $3x+11 < x-3$

(3) $9-(x-1) \geq 3(2-x)$

(5) $\frac{4}{5}x+3 \leq \frac{1}{2}(3x-1)+7$

(2) $2x-9 \geq 7x-34$

(4) $0.75x-0.3 > 1.21x+1.08$

(6) $\frac{3x-1}{4} < \frac{2-5x}{3} + \frac{1}{6}$

2 次の不等式を解け.

(1)
$$\begin{cases} 3x-6 < 4x-2 \\ 0.2(x+6) \geq 1.2x+3.2 \end{cases}$$

(2)
$$\begin{cases} 4(x+2) \leq 5x+9 \\ \frac{11}{12} - \frac{1}{4}x < \frac{1}{3} \end{cases}$$

(3) $2x+1 < \frac{x}{3} - 1 < x+2$

(4) $\frac{x-1}{3} - 1 < \frac{5x-4}{6} - \frac{1}{2} < \frac{x-1}{2} + \frac{2}{3}$

3 次の方程式, 不等式を解け.

(1) $|5x-6|=14$

(3) $2|3x-1| \geq 5$

(2) $|2x-1|=x+3$

(4) $|3x+2| < -x$

4 ワイングラスを1個240円で何個か仕入れ, これを1個400円で売ったとき, そのうち20個が割れても15000円以上の利益が上がるようにしたい. ワイングラスを何個以上仕入れればよいか.

5 x についての連立不等式
$$\begin{cases} 2x-5 > x-a \\ 3(x+a) > 7x-2 \end{cases}$$
 を解け.

6 次の方程式, 不等式を解け.

(1) $|x-2|+|2x-1|=5x$

(2) $2|x|+1 \leq |x+3|+3x$

7 倉庫の中に同じ大きさの商品が320個入っている. この商品を, 50個まで積めるトラックAと, 35個まで積めるトラックBを合わせて8台使って全部運び出したい. トラック1台の運賃は, A, Bそれぞれ15000円, 10000円である. 運賃の合計を100000円未満にすると, 次の問いに答えよ.

(1) トラックA, トラックBはそれぞれ何台使うことになるか.

(2) 運賃の合計は何円になるか.

■ヒント

5 a の値によって, 解をもつ場合ともたない場合がある.6 (1) $x < \frac{1}{2}$, $\frac{1}{2} \leq x < 2$, $x \geq 2$ の3つの場合に分けて考える.

4 集合と命題

例題 1 集合と要素

正の偶数全体の集合を A とする. 次の□の中に, \in または \notin のいずれかを書き入れよ.

(1) $2 \square A$

(2) $3 \square A$

解 (1) $2 \in A$ (2) $3 \notin A$ 1 正の奇数全体の集合を A とする. 次の□の中に, \in または \notin のいずれかを書き入れよ.

(1) $7 \square A$

(2) $8 \square A$

(3) $12 \square A$

(4) $13 \square A$

2 6の正の約数全体の集合を A とする. 次の□の中に, \in または \notin のいずれかを書き入れよ.

(1) $2 \square A$

(2) $3 \square A$

(3) $4 \square A$

(4) $5 \square A$

例題 2 集合の表し方

次の問いに答えよ.

(1) 次の集合を, 要素を書き並べる方法で表せ.

① 9の正の約数全体の集合

② $\{x \mid x \text{ は } 40 \text{ 以下の自然数で } 8 \text{ の倍数}\}$ (2) 集合 $\{2, 4, 6, \dots, 100\}$ を, 要素の条件を述べる方法で表せ.解 (1) ① $\{1, 3, 9\}$ ② $\{8, 16, 24, 32, 40\}$ (2) $\{x \mid x \text{ は } 100 \text{ 以下の正の偶数}\}$ [別解] $\{2x \mid x \text{ は整数, } 1 \leq x \leq 50\}$

3 次の集合を, 要素を書き並べる方法で表せ.

(1) 50以下の正の整数で11の倍数全体の集合

(2) 48の正の約数全体の集合

(3) 300以下の自然数で, 4で割ると2余る数全体の集合

(4) $\{x \mid x \text{ は正の整数で } 5 \text{ の倍数}\}$ (5) $\{n \mid n=2m, m \text{ は自然数, } m \leq 5\}$ (6) $\{2n-1 \mid n \text{ は自然数}\}$

4 次の集合を, 要素の条件を述べる方法で表せ.

(1) $\{1, 2, 3, \dots\}$ (2) $\{1, 3, 5, \dots\}$ (3) $\{3, 6, 9, \dots, 99\}$ (4) $\{2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19\}$

●ポイント

① ある条件を満たすものの集まりを集合といい, 集合に含まれる1つ1つのものをその集合の要素という. a が集合 A の要素であるとき, a は集合 A に属するといい, $a \in A$ または $A \ni a$ と表す.② 集合の表し方には, $\{ \circ, \circ, \dots, \circ \}$ のように要素を書き並べる方法と, $\{x \mid x \text{ の満たす条件}\}$ のように要素の条件を述べる方法がある.